

STAR

プレス減容機

取扱説明書

製品コード	K90047	K90048
型 式	S M P 4000	S M P 6000

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

STAR-農機株式会社

STAR

スリット容熱機

専用説明書

製品コード K90047
2 M.P. 4000
製品コード K90048
2 M.P. 6000

STAR


“熱必”の熱機専用説明書をご覧ください。

大塚製薬株式会社



安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて



危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。



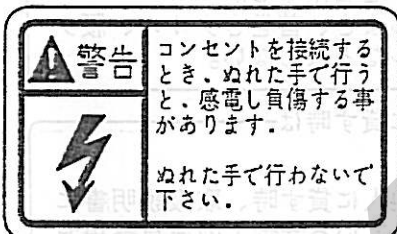
警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

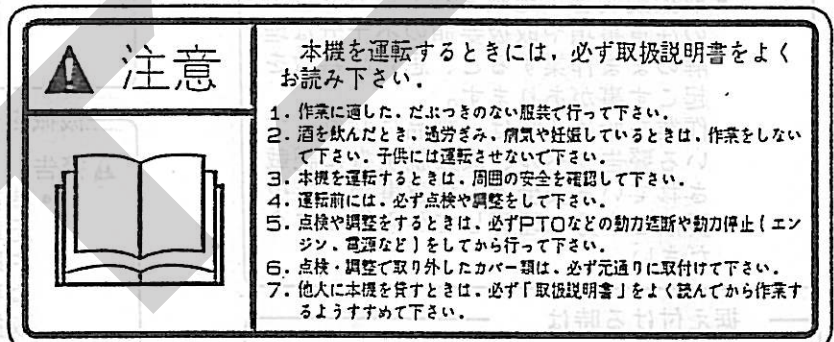


注意

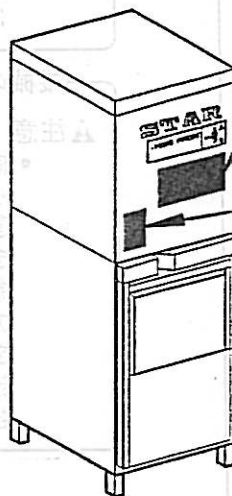
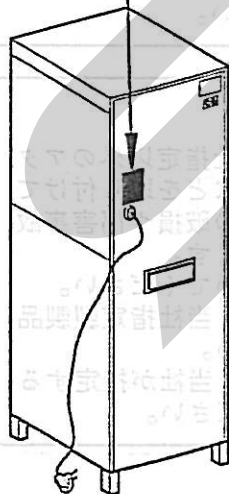
その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



部品番号 106517



部品番号 106164



部品番号 106522

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。注文の際には、この図に示す **部品番号** をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてから行って下さい。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

△注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は、分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

△注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

据え付ける時は

△警告

- 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。コンセントは単独で使用してください。

△注意

- 交流100V以外で使用すると、火災・感電の原因になります。交流100Vで使用してください。
- 電源コードが破損すると、火災・感電の原因になります。電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
- 水平でない場所に据え付けると、重心位置が高いため転倒しケガをする場合があります。必ず水平な場所に据え付けてください。

こんな時は運転しないでください

△警告

- 体調が悪い時、機械操作に慣れない場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

△警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は

△警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

△注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

作業中は

作業する時は

△危険

- 可燃物又は爆発物、危険な化学薬品又はその他の危険物を投入すると、爆発・発火する事があります。投入しないでください。

△注意

- ガラスビンやガラスのコップ等は、取扱い時手を切る等、ケガをする事があります。投入しないでください。

不調処置・点検・整備をする時

△注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- プラグを差し込んだまま不調処置をすると、第三者の不注意により不意に機械が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。プラグを抜いてください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。補修もしくは部品交換してください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

も く じ



安全に作業するために

安全に関する警告について	1
作業前に	2

作業中は	3
不調処置・点検・整備をする時	3

1 据え付け

1 各 部 名 称	6	3 据 え 付 け	7
2 コントロールパネルのはたらき	7			

2 作業の仕方

1 作 業 要 領	7
-----------	-------	---

3 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	9
-----------	-------	---

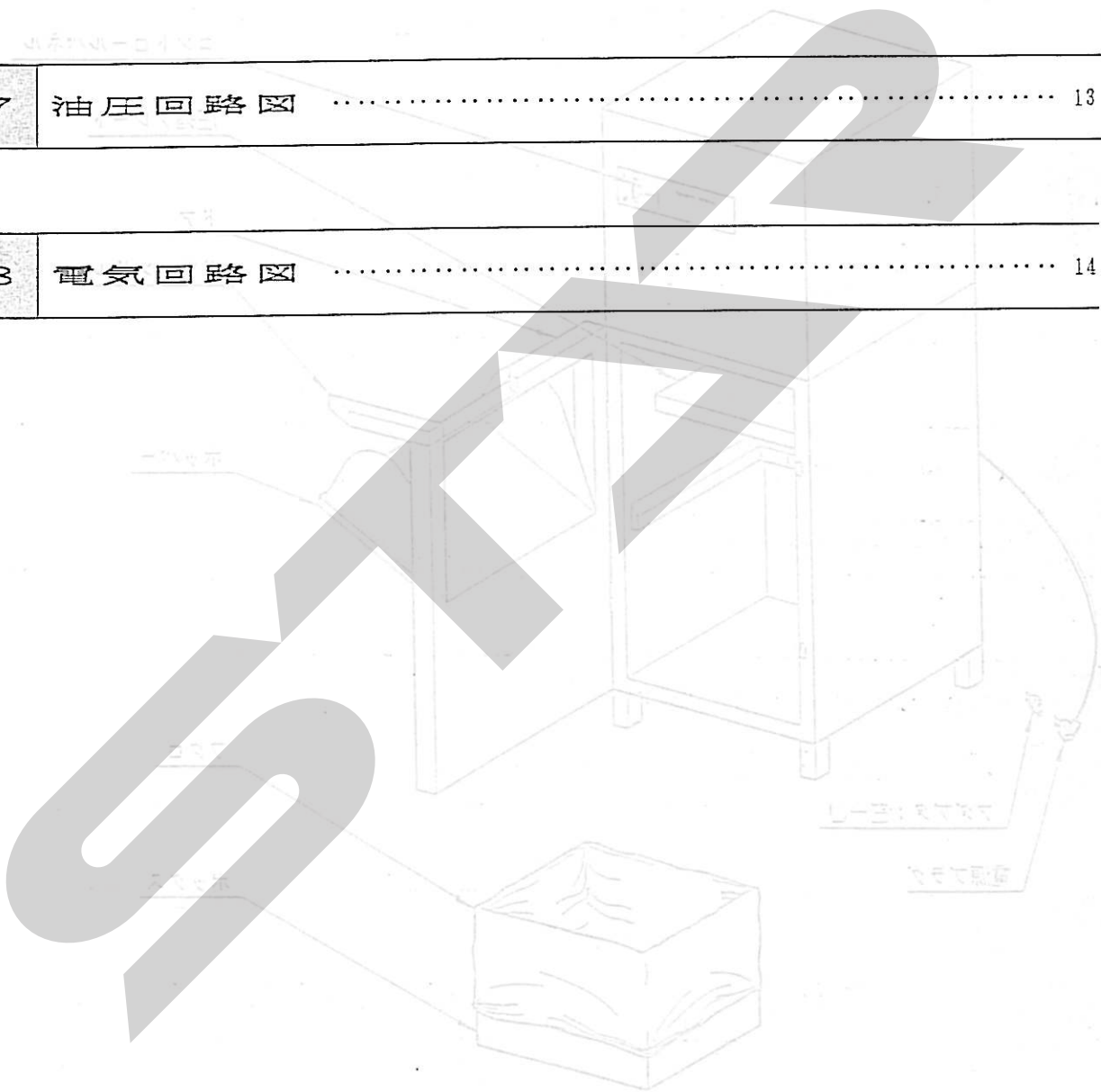
4 点検・整備について

1 点 検 整 備 一 覧 表	9	2 給 油 箇 所 一 覧 表	10
-----------------	-------	---	-----------------	-------	----

5	不調時の対応	
	1 不調処置一覧表 11

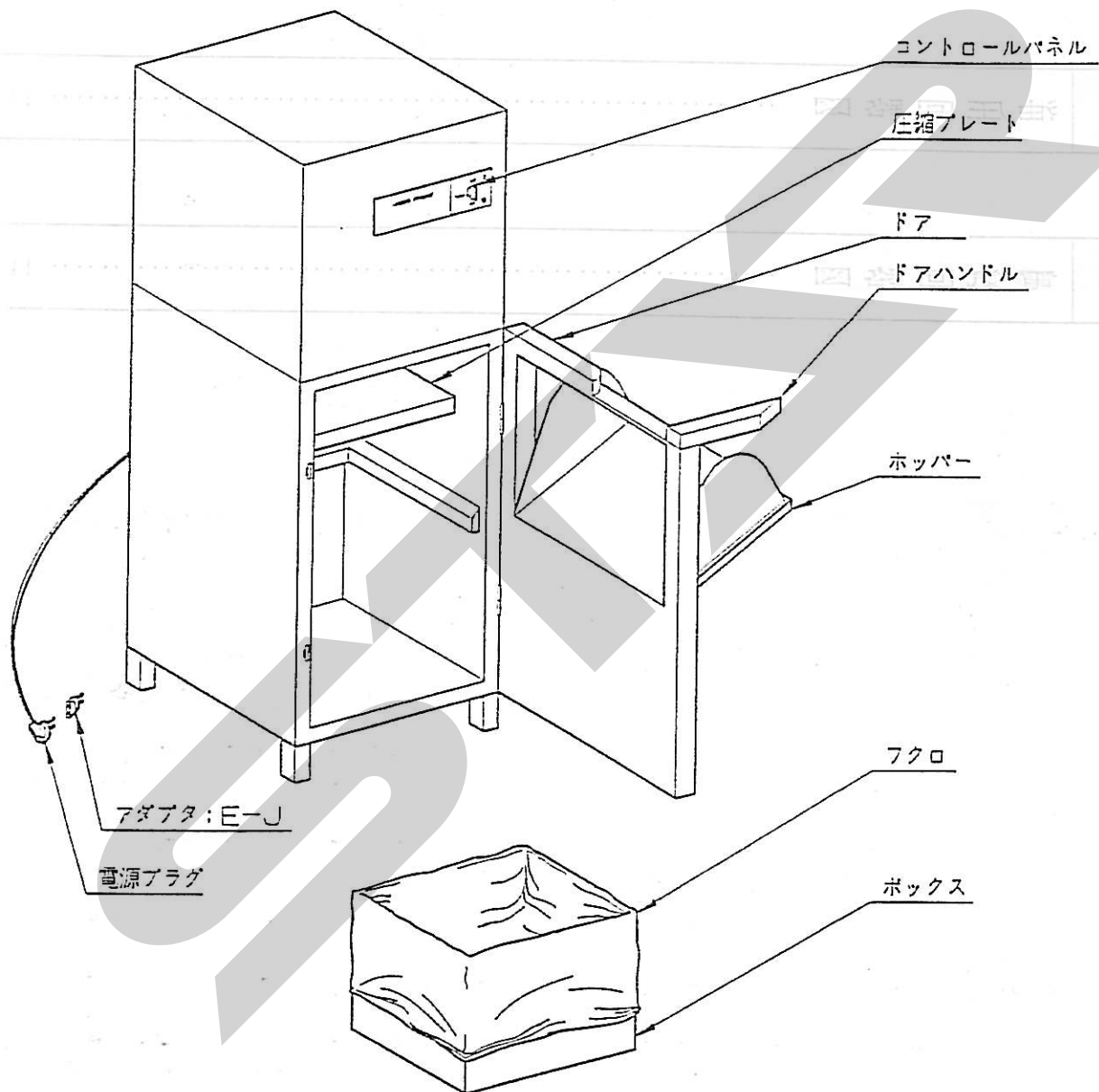
7	油圧回路図 13
---	-------	----------

8	電気回路図 14
---	-------	----------



1 据 え 付 け

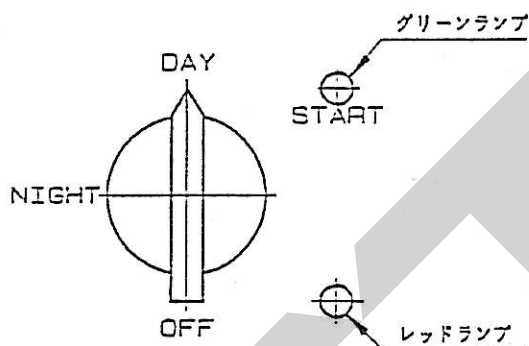
1 各 部 の 名 称



2 コントロールパネルのはたらき

メインスイッチは以下の機能を持っています。

- ①OFF - 即時停止
- ②DAY - ニュートラル状態
- ③START - 圧縮プレートが1サイクルの作業をします。
- ④NIGHT - 火災と臭いを避けるために、圧縮プレートが圧縮したまま停止します。
- ⑤グリーンランプ - 作動中に点灯します。
- ⑥レッドランプ - 満量時点灯します。又は、ホッパー・ドアが閉じていない時、点灯します。



3 据え付け

▲警告

- 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。コンセントは単独で使用してください。

▲注意

- 交流100V以外で使用すると、火災・感電の原因になります。交流100Vで使用してください。
- 電源コードが破損すると、火災・感電の原因になります。電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

1. 電源

作業するには、交流100V・20Aのコンセントに単独で接続します。

2. 据え付け

本製品は、通気の良い屋内の水平な場所に据え付けてください。

▲注意

- 水平でない場所に据え付けると、重心位置が高いため転倒し、ケガをする場合があります。水平な場所に据え付けてください。

2 作業の仕方

1 作業要領

▲危険

- 可燃物又は爆発物、危険な化学薬品又は、その他の危険物を投入すると、爆発・発火することがあります。投入しないでください。

▲注意

- ガラスビンやガラスのコップ等は、取扱い時、手を切る等ケガをすることがあります。投入しないでください。

電源プラグが差し込まれていることを確認してください。

1. ホッパーレバーを外し、ホッパーを開きます。
2. ドアハンドルを手前に回してからドアを全開します。
3. ボックスを引き出します。

4. フクロをボックスの中に入れ、上部は外側にできるだけきれいに折り返します。

5. 引き出しハンドルが手前に向く様にして、ボックスを入れます。

6. ドアを閉め、ドアハンドルでロックします。

—— これで作業準備完了です ——

7. ホッパーを開き、投入物を圧縮室に投入します。

取扱い上の注意

・長さ40cm以上の金属や木材の棒状のものは投入しないでください。
機械の故障原因になります。

8. 圧縮室がほどよく一杯になったら、ホッパーを閉じメインスイッチを「START」位置に回すとグリーンランプが点灯し、圧縮プレートは1サイクルします。

取扱い上の注意

・グリーンランプが点灯中にドア等を開くと機械が停止します。
開かないでください。

9. グリーンランプが消えたら、ホッパーを開き投入物を圧縮室に投入し、レッドランプが点灯（満量の合図）するまで、作業を繰り返します。

取扱い上の注意

・対象物によっては、レッドランプが点灯するまで作業すると、重くなり運びにくくなるので適度な重さで取り出してください。

10. レッドランプが点灯すると、圧縮プレートは下がった状態で停止しています。
これが上がった状態にするには、単にホッパーを開閉するか、メインスイッチを「OFF」にし、それから「START」に戻します。

11. ホッパーとドアを開き、ボックスを取り出し、一杯になったフクロを取り出します。

12. 再度作業をする時には、作業要領の4にもどり新しいフクロをボックスに入れます。

13. 1日の作業の終わりの時にボックスが満量になっていない時には、メインスイッチを「START」位置に回し、すぐに「NIGHT」位置に回しておいてください。

取扱い上の注意

・メインスイッチが「NIGHT」状態にある時や、作業中に停止した時には、投入しないでください。

3 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

1 作業後の手入れ

1. 圧縮プレートに付着しているゴミは、きれいに取り除いてください。
2. 破損部品がないか確認してください。異常があれば、修正又は部品の交換をしてください。

4 点検と整備について

調子よく作業するために定期的に行いましょう。

機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

▲注意

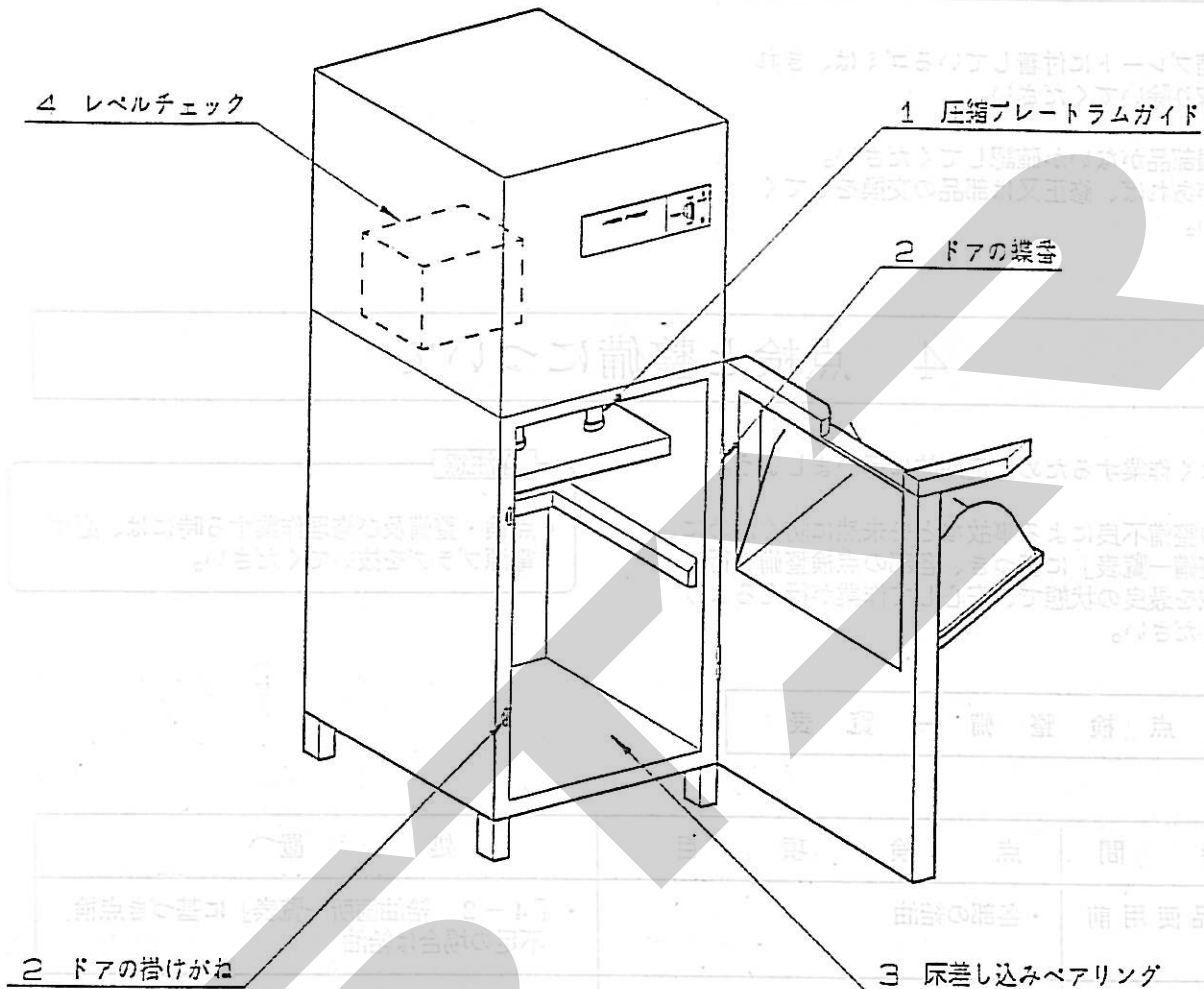
- 点検・整備及び修理作業する時には、必ず電源プラグを抜いてください。

1 点検整備一覧表

時 間	点 検 項 目	処 置
新品使用前	・各部の給油	・「4-2 給油箇所一覧表」に基づき点検不足の場合は給油
作 業 後	・機械の清掃 ・油漏れ	・「5 不調時の対応」に基づき処置
定期点検(毎月)	・機械の清掃 ・オイルタンクのオイル量 ・各部の給油	・石ケン水で内側をきれいにしてください。 ・レベルゲージの先端から半分かチェック ・「4-2 給油箇所一覧表」に基づき給油

2 給油箇所一覧表

- 給油・塗布するオイルは、清浄なものを使用してください。
- 出荷時には、十分給油してありますが、使用前に確認してください。



No	給油場所	箇所	潤滑油の種類	給油時間	備考
1	圧縮プレート・ラムガイド	2	グリース塗布	毎月	
2	ドアの蝶番・掛けがね	各2	オイル	〃	
3	床差し込みベアリング	3	オイル		
4	オイルタンク レベルチェック	1	ISO VG32 タービン油 相当	毎月	タンク内油量 ※ 8 ℓ

※ 圧縮プレートを一番高い位置にして、レベルゲージの先端から半分迄所定のオイルを注油します。

5 不調時の対応

万一機械の調子が悪い場合は、不調処置一覧表により処置をしてください。

▲注意

- プラグを差し込んだまま、不調処置をする
と、第三者の不注意により不意に機械が駆
動され、思わぬ事故を起こす事があります。
プラグを抜いてください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があ
ると、飛び出る高圧オイルでケガをする事
があります。
補修もしくは、部品交換してください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバ
ー類を取り付けずに作業をすると、ケガを
する事があります。
元通りに取り付けてください。

1 不調処置一覧表

	症 状	原 因	処 置
電 装 部	スイッチを“STA RT”の位置に回し てもモーターが回転 しない。	プラグが差し込まれていない。	プラグを差し込む。
		ドアが閉まっていない。	ドアを閉める。
		ホッパーが閉まっていない。	ホッパーを閉める。
		ヒューズが切れている。	ヒューズを交換する。
		熱により、モーターのスイッチが切れ ている。	オーバーロードによるモーターの熱 がさめるまでそのままにしておく と、自動的にリセットされる。
		モーターソレノイドスイッチの故障。	特約店又はメーカーに連絡する。 (注1)
		電気回路の故障。	
部	マグネットスイッチ が作動した時にモー ターが回転しない。	コンデンサー又はモーターが焼けてい る。	特約店又はメーカーに連絡する。 (注1)
		油圧ポンプの詰まり	
部	サーマルオーバーロ ードが連続して作動 する	コントロールバルブの作動圧がずれて いるので調整しなければならない。	特約店又はメーカーに連絡する。 (注1)
		モーターの故障	

	症 状	原 因	処 置
油	圧力が不十分もしくは発生しない。	オイルレベルが低い。	オイルを追加する。
		ポンプの発生圧が不十分。	特約店又はメーカーに連絡する。 (注1)
		圧力安全スイッチの設定が低すぎる。	
		シリンダのシールのオイル漏れ。	
油圧のサージと振動がある。	油圧装置内のエア障害又は安全弁の騒音。		
圧	ポンプの騒音又は振動がある。	オイルフィルターが詰まっている。	オイルを抜き、交換する。(注2)
		オイルが酸化している。	
部	オイルが過熱する。	圧力スイッチの設定圧が高すぎる。	特約店又はメーカーに連絡する。 (注1)
		内部に漏れがある。	
部	機械が作動中に振動／共鳴する。	ガイドに給油を要する。	グリース給油する。
	スタートのスイッチを入れるとレッドランプ(FULL)が点灯する。	圧力スイッチのセットが低すぎる又は故障している。	特約店又はメーカーに連絡する。 (注1)

注1…原因や処置の仕方がわからない場合は、下記事項とともに特約店又はメーカーにご相談ください。

1. 製品名 2. 製造番号 3. 故障内容 (できるだけ詳しく)

注2…オイル交換 (油圧作動油)

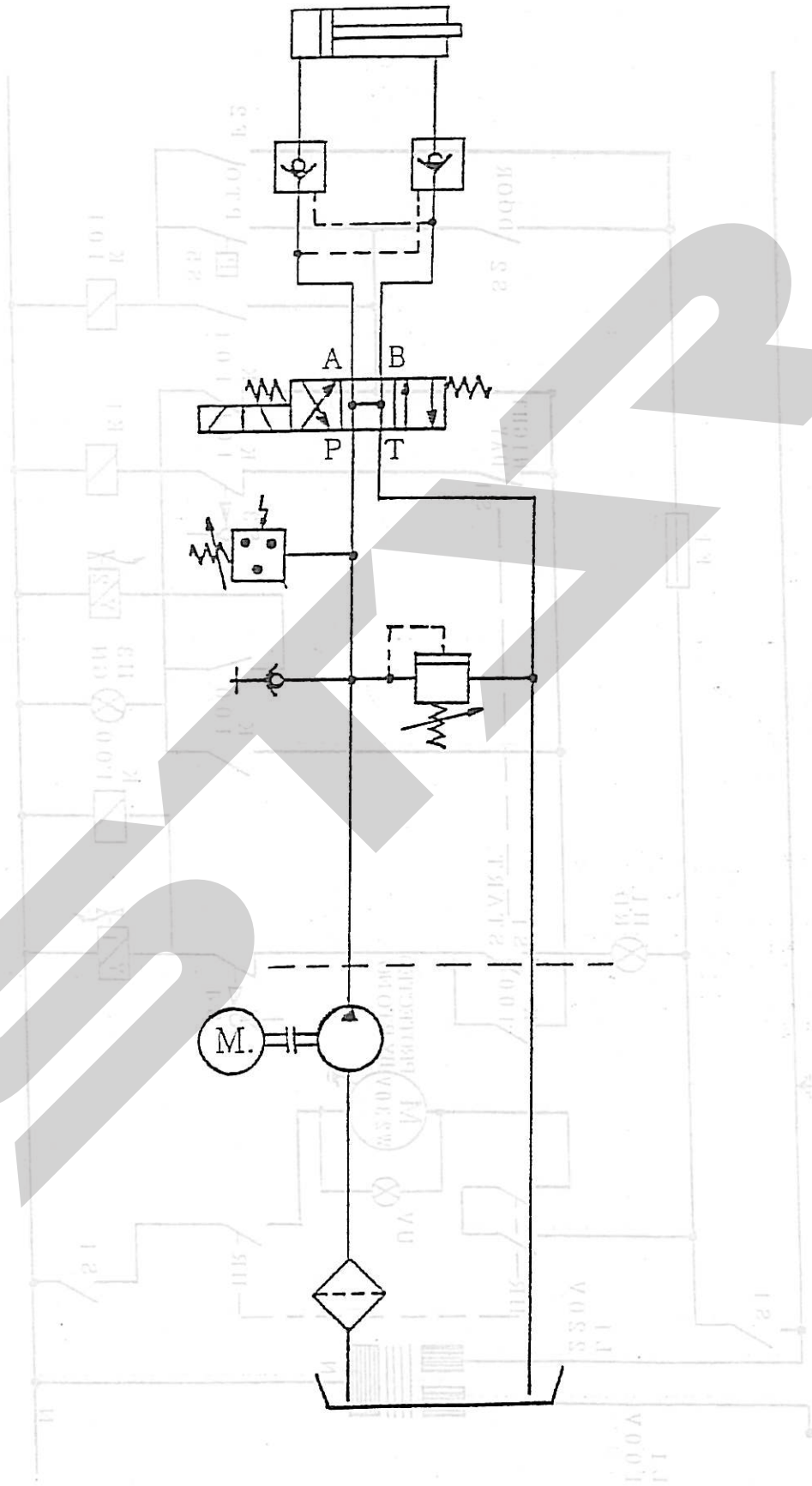
油圧作動油は減量分の補充のみで、交換の必要はありません。

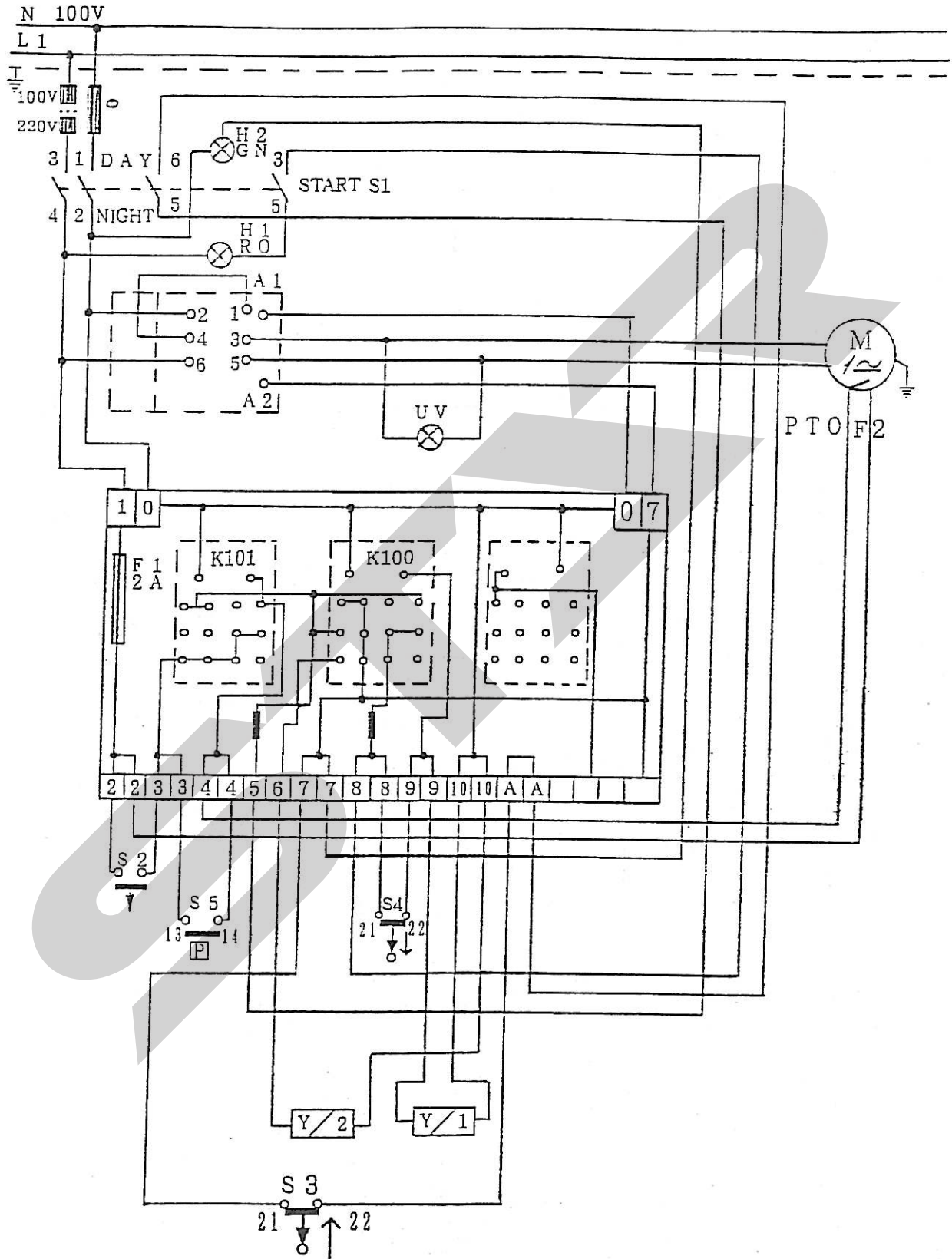
しかし、何らかの原因 (水が入った、異質のオイルを入れてしまった e t c) で酸化や劣化が激しく、交換の必要が認められた場合は交換します。

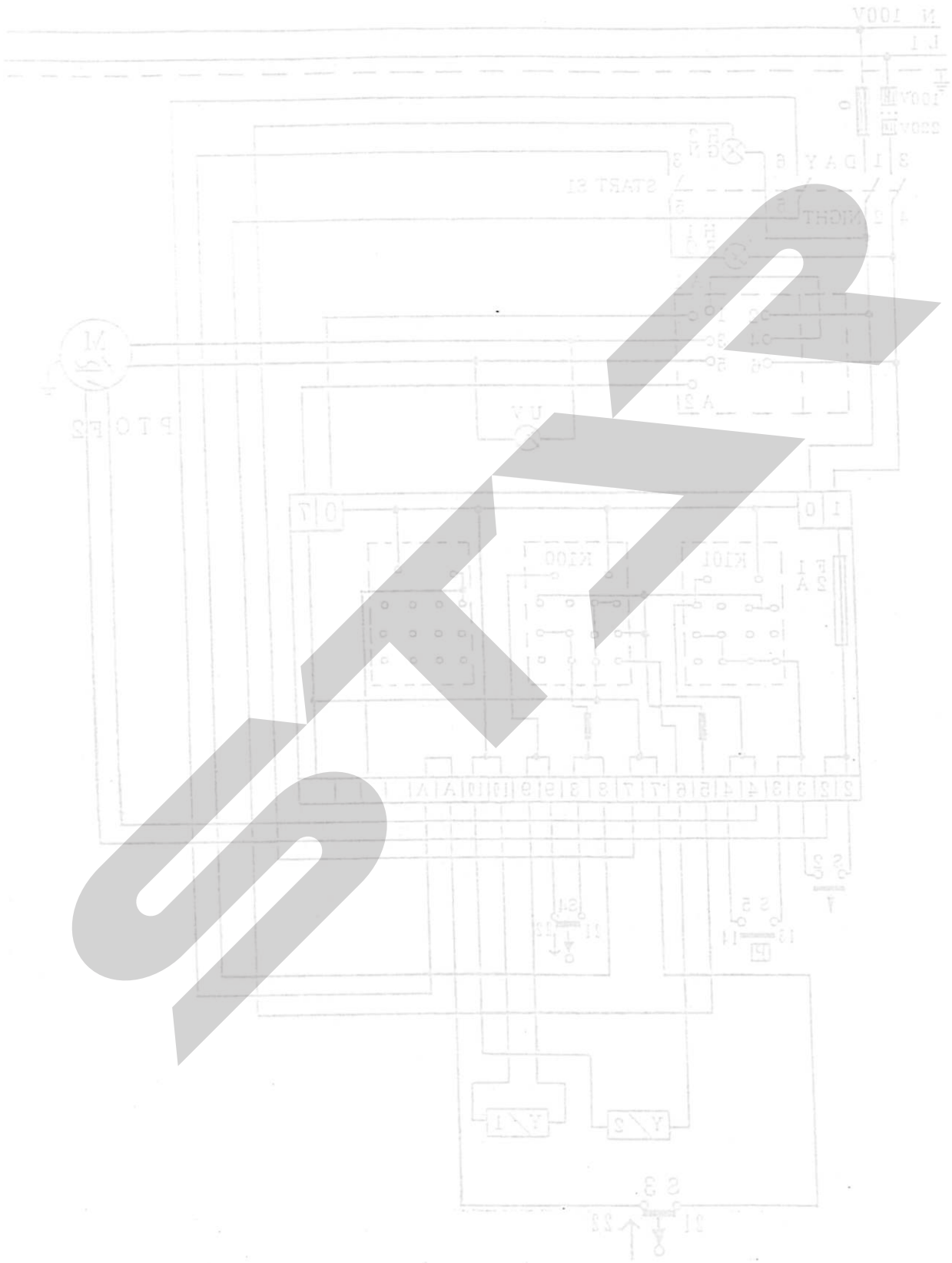
オイル交換は、特別なドレンを設けていないので、注油口からポンプ等で吸引し抜いてください。(オイル全容量 8 ℓ)

油量チェック、オイル交換は、必ず圧縮プレートを上にした状態で行ってください。

7 油 压 回 路 图







本	088	千歲市市長部 1061 番地 3	TEL 0133-36-1133 FAX 0133-36-2113
(千歲)	088	千歲市市長部 1061 番地 3	TEL 0133-38-1133 FAX 0133-38-2113
(柳井)	301-03	柳井市市長部 2813-1	TEL 0382-48-1400 FAX 0382-48-1410
千歲營業部	088	千歲市市長部 1061 番地 3	TEL 0133-32-2131 FAX 0133-32-3032
旭川營業部	070	旭川市神樂 4 条 8 丁目 3 番 31 号	TEL 0166-61-6131 FAX 0166-62-3332
釧路營業部	088-11	天保町 1 丁目 1 番 1 号	TEL 0163-83-1933 FAX 0163-83-1998
帯広營業部	080-31	帯広市西 2 条 北 1 丁目 1 番 1 号	TEL 0155-37-3080 FAX 0155-37-3181
北見出張所	090	北見市小 3 丁目 3 番 0 号	TEL 0157-24-9880 FAX 0157-21-1311
中標津營業部	088-11	標津町中標津 北町 2 丁目 1 番 2 号	TEL 0153-28-3634 FAX 0153-28-3634
花巻營業部	022-03	岩手県花巻市二枚橋 第三地割 3 番 1 号	TEL 0193-28-2741 FAX 0193-28-2713
川台營業部	888	岩手県多賀城市町前 2 丁目 4 番 2 号	TEL 022-967-1273 FAX 022-967-1273
小山營業部	301-03	栃木県小山市東 2 丁目 2 番 1 号	TEL 0382-49-1200 FAX 0382-49-1200
名古屋營業部	400-01	愛知県豊田市長崎 大字 高字 高字 南區 1 番 1 号	TEL 0587-93-6303 FAX 0587-93-2111
岡山營業部	100	岡山県岡山市下中 2 丁目 1 番 1 号	TEL 086-243-1141 FAX 086-243-1553
熊本營業部	883	熊本県熊本市長瀬町 2 丁目 2 番 2 号	TEL 098-381-7232 FAX 098-381-3232
福岡營業部	882	福岡県福岡市東区北 2 丁目 2 番 1 号	TEL 0988-33-1042 FAX 0988-33-1811

- 本社 066 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412
- 汎用機器営業部 066 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
(千歳) TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412
- 汎用機器営業部 307-02 栃木県小山市梁 2 5 1 2 - 1
(栃木) TEL 0285-49-1400
FAX 0285-49-1410
- 千歳営業所 066 千歳市上長都 1 0 6 1 番地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035
- 旭川営業所 070 旭川市神楽 4 条 9 丁目 3 番 3 1 号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985
- 豊富出張所 098-41 天塩郡豊富町上サロベツ 1 1 9 1 番地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696
- 帯広営業所 080-24 帯広市西 2 2 条北 1 丁目 1 2 番地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187
- 北見出張所 090 北見市小泉 3 0 2
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344
- 中標津営業所 086-11 標津郡中標津町北町 2 丁目 1 6 番 2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540
- 花巻営業所 025-03 岩手県花巻市二枚橋第三地割 3 3 3 - 1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746
- 仙台営業所 985 宮城県多賀城市町前 2 丁目 4 番 2 7 号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846
- 小山営業所 307-02 栃木県小山市梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560
- 名古屋営業所 480-01 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷 1 9 1
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416
- 岡山営業所 700 岡山県岡山市下中野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269
- 熊本営業所 862 熊本県熊本市長嶺町 2 2 5 5 - 4 2 9
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525
- 都城営業所 885 宮崎県都城市都北町 3 5 3 7 - 1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644